

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年10月12日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4690100500号
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム 谷山中央
所在地	鹿児島市谷山中央2丁目609番1 099-268-1765
自己評価作成日	平成24年9月8日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年9月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島弁「てげてげ」をモットーにありのままにゆっくりゆったりと過ごしていただけるように努めています。食事は地場の季節のものを多く取り入れ手作りをモットーにしています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

谷山地区の中心にほど近く、交通、学校、病院、公共施設等の利便性の良い環境に建てられているグループホームである。近隣住民や子どもたちの通学路として敷地を開放しており、住民の安全対策として敷地内に街灯も設置されるなど地域に融合している。また、校区運動会では毎回、利用者の席が確保されており、地域の一員としてできる種目に参加して楽しんでいる。運営推進会議が家族に浸透しており、行事を組み込むなどの工夫をして毎回多数の参加が得られている。内容も行事や外出支援などの利用者へのサービスについて活発な意見・要望が出され、充実した会議となっている。また、全利用者が参加する利用者主体の運営推進会議も行っており、思いや希望を聞き出し、個別支援に活かされている。元気な利用者が多く、日常的に散歩や本人希望の夕食、大型スーパーへの買い物など個別の外出支援を行い、ときには全員でファミリーレストラン、ソーメン流し、季節の花見、くだもの狩り、水族館、動物園などにも出かけている。

職員の離職が少なく、ほとんどの職員が3年以上勤務して利用者・家族ともなじみの関係が築かれている。また、自己研鑽意欲が高く、外部研修などにも積極的に参加してスキルアップを目指し、現在、介護福祉士11名、ケアマネジャー3名、看護師1名、准看護師2名の有資格者を確保している。障害や認知症を個性として捉え、普通に暮らせることを目標とした質の高いサービスの提供がなされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	H16年開設時、スタッフ全員で作りました。毎朝、理念の唱和を行い日々の実践に努めています。	利用者が地域と関わりながらその人らしく生活できることを目指した理念を作成している。理念は玄関と職員が目につきやすい台所、スタッフ休憩室に掲示してパンフレット、契約書にも明記している。職員は毎朝唱和し、理念を確認して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の加入、地域の行事に参加する事で地域とのつながりを大切にしています。	ホーム敷地を近隣住民の近道、子ども達の通学路として開放しており、日常的に挨拶を交わすなど自然体での交流がなされている。また、通行する住民の安全対策として町内会に働きかけ、街灯も設置された。校区運動会には利用者の席が設けられ地域の一人として利用者の種目に参加するなどしている。他にもあいごの十五夜行事、ふるさと祭り見学にも出かけ、高校生の実習の受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	近隣の人達との交流を通じて認知症の人の理解を深めるように地域の人々に声掛けしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営委員会議に問題点がある。家族の参加によりご意見のあったものには対処しています。	運営推進会議は2カ月に1回行われており、行事を組み込むなどの工夫をして多数の家族の参加が得られている。行事や外出支援についての意見や要望など利用者のサービスについて活発な話し合いがなされている。また、利用者主体のときもあり、思いや希望を聞き出して個別支援に活かしている。	

鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護課の担当者とは御協力を頂対応しています。	事故報告や困難事例など日頃より連携を図り、協力関係を築くように努めている。また、介護相談員の受け入れも行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを目指し、毎朝身体拘束の三原則を皆で読み上げて実践できるように取り組んでいる。	身体拘束3原則は職員の目に着く場所に掲示し、身体拘束廃止委員会による事例検討会議も行って拘束のないケアの実践に取り組んでいる。職員個々に「身体的弊害」「精神的弊害」「社会的弊害」についてレポート提出してもらい、正しく理解できるように周知徹底している。日中は居室や玄関の施錠はせず、職員間の連携で安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待防止法について話し合いを設けて事業所内での虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前は成年後見人制度を利用された方がおり勉強しましたが今後さらに学ぶ機会を持ち利用者の必要に応じ関係者と話し合い活用できるように支援していきます。		

鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に家族に説明し、契約を交わし、理解と納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に家族会を設けて意見、要望等を聞いて運営に反映させている。	日常の面会時、電話連絡時等に意見、要望を引き出すようにしている。また、家族参加の行事に運営推進会議を組み込むこともあり毎回、多数の家族が参加してスタッフとの交流及び意見・要望などを聞く機会となっている。出された意見や要望については職員全員で話し合っ運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員と管理者のミーティングを設けて意見交換を行い、反映させている。	毎朝・夕の申し送り時や毎月の職員会議などで意見交換を行っている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の努力に対して手当てを支給しています。		

鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者から研修の案内が来たり研修費用についても費用の負担をするなど研修の機会を設けています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>谷山地区にグループホーム谷山支部がありネットワーク作りや勉強会に参加する機会があるが参加の機会は少ない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時に本人の要望、意見に耳を傾けて関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時以後、現在も家族の不安、要望に耳を傾けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前に事前訪問、御家族と一緒に体験見学をして頂き一人一人の生活暦等と把握し必要な支援を見極め対応するようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、暮らしを共にする家族のような関係を築くように努めている。		

鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族と同じ立場になり、本人と家族の絆を大切にし、共に支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が大切にしてきた馴染みの人との関係が途切れないように職員が連絡をとれるように努めている。	日常の会話などで本人の希望を聞き取り、家族の協力をもらいながら、外出・外泊などなじみの人や場との関係継続の支援を行っている。また、友人・知人が訪ねやすいような雰囲気作りにも配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人が孤立しないように声かけし、共に支え合えるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても家族からの差し入れや電話があり、これまでの関係性を大切に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや暮らし方の希望意向の把握に努めている。困難な場合は本人本位に検討し笑顔で暮らせる支援を行っている。	離職が少なく、ほとんどの職員が3年以上勤務しているため、利用者とのなじみの関係が築かれ、日常の会話や言動、表情などから思いや意向を把握している。また、障害や認知症を個性として捉え、普通に暮らせることを目標にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に事前訪問、御家族と一緒に体験見学をして頂き一人一人の生活暦等と把握入所後もこれまでの生活について補足を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	団体生活を基調においているも、各入居者個々の居室内での生活習慣を大切にするよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員の意見の反映は多いとは言えない。チームワークを根本に入居者を取り巻く環境因子、総動員で介護力の益々の強化に努める。	入居時に本人、家族の希望を聞いて、職員、主治医の意見を取り入れながら個々に応じた介護計画を作成している。家族との外出・外泊をプランに取り入れている利用者もあり、家族もともに本人を支えられるように個別性のある介護計画となっている。見直しは変化がなくとも定期的に行い、退院後や日常生活で変化が見られたら都度見直しを行って現状に即した介護計画を作成している。	



鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録をすべての職員に係る事で、情報を共有する事につながっている。記録の方法については今後検討が必要である。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に合せその時必要なサービスが受けられるように取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用はあまりされていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医、協力医療機関に於いて、本人、家族の希望を大切に適切な医療が受けられるように支援しています。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。本人・家族の状況に応じてホームでも柔軟に受診同行している。	

鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職員一同、情報や気づきをとらえて看護職員に伝えて適切な受診をとれるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者が入院した際、病院関係者との情報交換や相談を行い関係づくりを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化の場合、ターミナル協力体制等、家族と話し共有するよう努めているも家族との相互理解もまだ不足しており、地域関係者とのチームワーク体制も現在厳しい。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの方針は入居時に説明している。入居後は利用者の身体状況に応じて主治医の指示のもと、家族と話し合い、職員も方向性を共有してホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に応急手当や対応の訓練を行い、実践力を身につけている。</p>		

鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を行い地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回昼夜間想定で避難訓練を行っている。敷地内のアパート住民とも協力の話し合いがなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格に合わせた言葉かけや対応している。	個々の生活歴を踏まえ、わかりやすい言葉や方言を使い分けてその人に合った対応をしている。また、日常の業務の中で気づいたら都度話し合っって職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定の出来る利用者に対しては本人の思いや希望を優先できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースに合わせその日を大切に過ごせるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみやおしゃれが出来るように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	年間行事、誕生日等、旬の食材をとり入れ、一緒に準備や食事、片付けを行っている。	個々の力量に応じて準備や片づけなど手伝ってもらっている。ときには気分を変えて、外食(ファミリーレストラン・ソーメン流しなど)に出かけたり、出前をとるなど趣向を変えて「食」が楽しめるように支援している。また、個別支援で本人の希望により受診後に外食して帰ることもある。	

鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	経口から食べる事の重要性をスタッフ全員で共有し一人一人の状況や力に応じた支援を続けています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時から夕食後の口腔ケアをその人の腕力に合わせ支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、排泄の自立に向けた支援を行っている。	入居直後は排せつの記録でパターンを把握できるように行っている。離職が少なく、職員は利用者のサインやパターンを把握しており、タイミング良くトイレ誘導の声かけを行っている。日中は布パンツで自立している利用者も多く、継続できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の重要性を、共有し野菜を多く取り入れたメニュー、水分補給等工夫しています。その人の状況に合わせ支援しています。		

鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望する時間帯に合わせ、時にはスタッフも一緒に入浴し支援している。	基本は週3回であるが、個々の希望や身体状況に応じて柔軟に入浴支援を行っている。また、ときには、足湯に出かけたり、家族が温泉に連れていく利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人に合わせて時間に安心して気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋に基づき、副作用、用法や用量について理解し症状の変化の確認は記録するように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ボランティア等を通し、喜びや楽しみを感じてもらい、気分転換等の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は散歩をかねて外気浴、買い物に出かけたり、家族の協力を得て動物園、水族館、ぶどう狩り、ソーメン流し等出かけられるように支援している。	外出好きな利用者が多く、日常的には個別支援で外気浴を兼ねた散歩・受診後の外食・買い物を兼ねてショッピングセンターなどに出かけている。また、家族の協力を得て外出や外泊をする利用者もいる。全員で出かける外出レクリエーションとしてファミリーレストランなどの外食、初詣、季節の花見、水族館、動物園などへも出かけている。	

鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物と一緒に出かけて本人が欲しい物を買えるようにお金を所持して使えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望で電話をかけるように支援したり、年賀状を書いてもらっている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族からの生花で毎日が不快なく、利用者も香りを楽しみ、居心地よく過ごせている。</p>	<p>共用空間は広く、温度調節や換気、掃除が行き届いている。玄関・廊下・居室に不要なものを置かないようにし、浴室やトイレ、台所なども利用者が出入りしやすい造りで身体機能を活かし、自立した生活が送れるように配慮されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テレビの前に集まり、スタッフも一緒に観賞したり、楽しく話をする様に工夫している。</p>		

鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたソファ・テレビ・タンス・仏壇等を持ち込み本人の居心地よく過ごしている。	使い慣れたタンス・食器棚やテレビ、ラジオ、ソファ、仏壇、飾り物、家族の写真などが持ち込まれ、それぞれに居心地良く過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々でできる事、茶わん洗いモップ掛け、洗濯物たたみ等、自立した生活が送れるように工夫している。		



V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム谷山中央 1ユニット

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない